

水道施設の耐震化等に関する支援について

中国部会提出
説明担当 浅口市

近年、大規模地震の発生リスクが高まる中、国民生活と経済活動を支える水道施設の耐震化は喫緊の課題です。加えて、各地で水道管の老朽化による事故が多発しており、直近では令和7年2月、埼玉県所沢市において、築46年の水道管が破損し、一時10メートルの水柱が上がる事故が発生しました。周辺の住宅20軒が断水し、市民生活に大きな影響を与えました。こうした事態は、地震発生時における更なる被害拡大を強く示唆しており、早急な対策が必要です。

そこで、国におかれては、水道施設の耐震化等について支援いただくよう、下記の事項について強く要望する。

- 1 水道施設の耐震化計画策定・実施に対する財政支援の大幅な拡充。特に、地方自治体の財政状況を考慮した交付金制度の拡充と、手続きを簡素化すること。
- 2 老朽化した水道管路の更新・耐震化を促進するための技術的支援の強化。最新技術の導入支援や、専門家派遣制度の充実を図ること。
- 3 地域の実情に応じた柔軟な耐震化計画策定を可能とする制度設計。画一的な基準ではなく、地域特性や地盤状況を考慮した計画を支援すること。
- 4 地震発生時における応急給水体制の強化に向けた支援。災害時の給水拠点整備や、緊急時対応マニュアル作成を支援すること。